

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	消防総務課長 荒木 正秀	電話番号	0852-22-5886
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	防災情報システム整備事業		
目的	(1) 対象	県民及び防災関係機関	
	(2) 意図	的確な情報連絡体制の確立と防災情報の共有化を図れるようシステムを整備し、災害の未然防止や拡大防止を行う。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合防災情報システムの管理運営を行い、防災関係機関の情報の共有化を図ると共に、県民に対し各種情報の提供や災害対策時等の支援を行う。</li> <li>県・市町村及び防災関係機関を結ぶ防災行政無線設備について、地上系回線と衛星系回線による二重化を図り、併せて通信方式の第二世代化整備やデジタル化整備を行う。</li> <li>防災行政無線設備について、良好な通信手段を常時確保し、災害時における連絡体制を確立するため、設備の維持管理や修繕等を行う。</li> <li>震度情報システムの維持管理を行い、地震発生時における県及び市町村の初動体制の確立を計ると共に、県民に対し広く情報提供を行う。</li> <li>ヘリコプターTV電送システムの維持管理を実施し、災害現場等の映像情報を収集・伝達して、災害規模の迅速な把握や的確な災害対策を実施する。</li> </ul>		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 防災行政無線を利用した発信数	目標値		320,000.0	320,000.0	320,000.0	320,000.0	回
		取組目標値						
	式・定義 年間の防災行政無線を利用した発信数	実績値	229,280.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	
2	指標名 しまね防災メールの登録数	目標値		15,000.0	16,000.0	17,000.0	18,000.0	
		取組目標値						
	式・定義 しまね防災メールが登録された累計数	実績値	13,753.0					%
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,583,474	2,750,942
うち一般財源 (千円)	135,878	161,360

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>防災行政無線の幹線系及び移動系設備について、平成26年度末で更新整備を完了した。</li> <li>防災行政無線の衛星系設備（県庁設備）について、平成27年度末で更新整備を完了した。</li> <li>災害時等に現地より映像情報等を配信する衛星通信車について、平成27年度末で更新整備を完了した。</li> <li>衛星系及び端末系通信設備（設置場所：県出先機関、市町村、消防本部、国機関、その他防災関係機関）で構成する総合防災ネットワーク設備の更新整備に着手した（平成29年度末に完了予定）。</li> <li>防災行政無線の既設設備改造（県庁統制局、中継局）や統制局機能のバックアップ整備（浜田合庁局）について着手した（平成28年度末に完了予定）。</li> <li>その他、総合防災情報システム、ヘリコプターTV電送システム及び震度情報システムについて、適切な維持管理を実施し運営している。</li> </ul>
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>防災行政無線の幹線系、移動系及び県庁衛星設備の更新整備を完了したことで、設備の信頼性が大きく向上し、また次世代通信方式への対応も可能となった。</li> <li>衛星通信車の更新整備が完了したことで、設備の信頼性が大きく向上し、また次世代通信方式への対応も可能となった。また、ベース車両を見直したことで、災害現場に向けての機動性が大幅に向上した。</li> <li>防災ポータルサイトへの閲覧アクセスはその年の天候や台風の接近、あるいは災害の有無等により大きく左右されるが、「しまね防災メール」の登録件数が順調に増えていることなどから、県民へも周知され各種情報の提供等に大きく貢献している。</li> </ul>
---

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平成24～27年度にかけて更新整備を終えた設備以外（衛星系及び端末系通信設備）について、故障の発生が増えてきており信頼性が低下しつつある。</li> <li>総合防災情報システムの運用保守期間が平成30年度末に満了を迎えることから、更新する必要がある。</li> </ol> <p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>設備設置後15年以上経過し、設備の老朽化が進んだことや補修部品の製造中止等で修理が難しくなっているため。</li> <li>現行システムの機器耐用年数、各種サポート、保証期間等を考慮し、5年のライフサイクルで更新することとしており、更新期限を迎えるため。</li> </ol> <p>③原因を解消するための「課題」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平成29年度末の総合防災ネットワーク設備の更新完了に向けて、引き続き整備事業を進捗させる必要がある。また、更新費用が多いため、補助金や有利な起債等の制度が必要であるが、本整備事業の主たる財源である「緊急防災・減災事業債」の平成29年度以降の継続が確定していない。</li> <li>システム更新にあたり、多大な開発費用を賄う予算（財源）を確保する必要がある。</li> </ol>
--

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ol style="list-style-type: none"> <li>平成29年度末において今回の更新整備事業全体を完了させて、防災行政無線設備による高い信頼性を持った情報通信ネットワークを形成させつつ、将来に向けた新たな通信方式（デジタル化・IP化）に対応する。また、「緊急防災・減災事業債」の平成29年度以降の継続等、整備事業に必要な財源の確保に向けて、国に対し要望するとともに、全国知事会を通じて同様の要請を行う。</li> <li>平成29～30年度における次期システムの開発事業を行うための準備を進めるとともに、これに必要な財源について確保出来るように、関係部署と調整を行う。</li> </ol>
--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--